□笹川通博：**新潟県佐渡における植物分布図集，分布上特徴のある植物**　277 pp. 2005. A4. 積雪地域植物研究所. ISBN: No number.

新潟県では石沢　進氏の指導の下に，一貫して同じスタイルの植物分布図が出版されてきた．県本土のものはすでに一段落し，今回は佐渡に関する4冊目として本書が刊行され，75種類が示されている．石沢氏の後記によると，われわれが「普通にある」と思っている植物でも大佐渡と小佐渡で分布の異なるものがあり，イヌシデ，ヒメウズ，エナシヒゴクサ，フッキソウなどがその例とのことである．

分布図は約40万分の1の等高線つき白図上に，たぶん目測で位置決めして打点したもので，これ迄の新潟県植物分布図集と同様である．メッシュとしての位置座標を知るために，5倍メッシュ相当の方眼を描いた半透明紙がついていて，これを重ねて読み取りができるようにしてある．図の元になった標本や文献が位置座標順にまとめて示されている．最後に簡単なまとめがあるが，佐渡にはヤマツツジが分布しないと記されているのが意外な感じがした．価格，入手法については下記に問い合わせること．956-0816 新潟市新津東町2-5-6 新津地域学園内新津植物資料室（Tel 0250–22–9686)．ただ，広く使ってもらいたい配布物であるなら，そういう情報はつけておいてほしい．　（金井弘夫）

□中西　収，小林禧樹，黒崎史平：**キヨスミウツボの生活　神戸市押部谷町木見新池での保全のとりくみから**　108 pp. 2006. ￥2000. A4. 兵庫県植物誌研究会. ISBN: 4-9903197-0-2.

わが国の高等植物は「戸籍調べ」という点ではあらかたわかってきた．だからそういう観点からは，外来植物や稀産植物の発見記録に注意が集中し勝ちのように思う．一方，「生活誌」という面では，観察者が多いにもかかわらず，あまり広がりを見せていない．この点，昆虫などの分野とは雲泥の差がある．

1987年，六甲山地の西端に位置する新池地区に，わが国屈指のキヨスミウツボの群生地が発見されたが，その周辺はすでに産業団地の開発の予定地で，1988年の環境影響評価書では「影響は軽微」という報告がなされた．有志団体の要望により開発は一時中断され，調査と保全の事業が行われたが，計画変更はむつかしく，2001年には群生地は消滅した．本書はその間に行われた調査の結果を記録したものである．一つの種類について，それも寄生植物という観察のむつかしい植物について，これほど多方面から調査研究した記録は少ないだろう．

まず発生状況の経年変化が追跡されている．花には香りのあるものとないものがあり，それがめしべとおしべの相対位置と対応するうえ、染色体数（二倍体と四倍体）とも関連し，花粉数，そのサイズ，胚珠数，受粉型にも反映されている．DNAによる分析でも，香りのある群とない群では差が認められる．果実は液果で，従来の成書にあるさく果とは異なる知見を得ている．散布は小動物による被食とみられるが，成熟前に受ける食害が大きいとのこと．寄主との関係も詳細に調べられているが，栽培下と自然での場合では，かなりの違いがあるようだ．

そのほか，付近の注目すべき植物，土壌動物，菌類の記述，個体群保存への種々の試み，既存資料から集成した植物目録がある．開発計画に追いかけられながらの調査とはいえ，一つの植物種の生活誌として，今後の他種の調査研究の参考になると思う．入手についての連絡先は673-[redacted] 明石市[redacted] 小林禧樹（振替 01150-4-78763)．　（金井弘夫）